

最新の眼科医療に努めています

患者さま本位の医療をご提供できるよう身体的負担が軽減できるように、市立病院眼科では今年1月から下記の新しい機材を取り入れ、最新の眼科医療に努めております。

【画像ファイリングシステム TOPCON製 IMAGEnet】

細隙灯顕微鏡で観察した眼表面や、眼底カメラで撮影した眼底の画像などあらゆる画像データを、患者さんのIDごとに整理・記録して保存するシステムです。

画像ファイリングシステムは眼底カメラやスキャナーともリンクしてあるので、患者さんの所見や画像データなどがデジタルデータとして保存しており、これにより液晶ディスプレイに患者さんの目の状態を供覧しながら病状をわかりやすく説明することができます。

また、以前の病状も同時に供覧することもできるので、前回の来院時などと比較することによって、病状が回復していることなどを知っていただくことも容易にできるようになりました。

【無散瞳眼底カメラ TOPCON製 TRC-NW200】

眼底は人体の中で唯一、血管が直接観察することができ、眼病を含め生活習慣病（動脈硬化・高血圧・糖尿病）など全身の疾患からくる血管疾患を推測することができます。

眼底カメラには、無散瞳カメラと散瞳カメラがあり、無散瞳カメラでは散瞳剤を使わずに眼底の写真を撮ることができます。



画像ファイリングシステムと連動しているため、その場で検査結果を知ることができます。赤外線CCDカメラを使用しているため従来のカメラに比べ撮影時にまぶしくありません。

検査方法は、顎受け台に顎をのせ、目を大きく開いて頂き撮影を行い、10～15分あけて瞳孔が開いたらもう一方の目の撮影を行います。

【眼科用超音波診断装置 TOMEY製 UD-6000】

高度の白内障や眼底出血で眼底が見えないときに眼球の断層像を観察（Bモード）したり、白内障手術前に眼内レンズ度数を決めるために眼軸長を測定（Aモード）したりするための装置です。高性能のため検査が短時間で終了することができるようになり、眼にかかる負担がすくなくなりました。



【ポータブルスリットランプ KOWA製 SL-15】

手持ち式のコードレスのスリットランプです。通常は固定式の細隙灯顕微鏡で診察しますが、乳幼児や車椅子、ストレッチャーの患者さんの前眼部（主に眼球表面）の診察を行うときに使用します。

また、往診や学校検診にも持参することができ、診察の幅が広がりました。



眼科外来（診察担当医）

月	火	水	木	金	土
葛城	葛城	葛城	丸岡	葛城	担当医

【外来診察のご案内】

耳鼻咽喉科外来

3月からの診察は下記のとおりとなります。

月	火	水	木	金	土
岡本（倫）	休診	岡本（英）	休診	金田	休診

小児科外来から

平成19年3月1日（木）から7日（水）までは、こども予防接種週間です。

4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

特に4月に小学校に入学されるお子さんで、平成18年4月以降、麻しん・風しんの予防接種をまだ受けていない方は、ぜひこの機会に受けましょう。接種申し込み 接種希望者は、平日（午後1時～3時 / 4時～5時）に電話で予約してください。